

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Surgery Today	Intraoperative colonoscopy for stapled anastomosis in colorectal surgery.	Ishihara S	外科
J Microwave Surg 26 47-51, 2008	Cool-tip型radiofrequency ablation system を用いた子宮内膜焼灼術	梁 栄治	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 57(2):184-189,2008	膈扁平上皮癌に対して塩酸イリノテカン+ネダプラチンのcombination chemotherapyが著効した1例	杉浦 聡	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 57(3):418-420,2008	術前検査にて癒着胎盤が強く疑われた1例	堀 晋一郎	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 57(4):588-591,2008	卵巣神経内分泌腫瘍の1例	堀 晋一郎	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 58(1):13-16,2009	特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠の2例	中村泰昭	産婦人科
脳と発達	Valproate sodiumとphenobarbitalの併用が予防に有効であった周期性嘔吐症候群の2例	藤澤千恵	小児科
ホルモンと臨床	小児期頭蓋咽頭腫の術後、成長ホルモン療法なしにもかかわらず高身長を呈した成人女性例	藤澤千恵	小児科
脳と発達 別刷	Valproate sodiumが予防薬として有効であった周期性嘔吐症候群の1例	藤澤千恵	小児科
Brain Dev	Effective Prophylactic therapy for cyclic vomiting syndrome in children using valproate	藤澤千恵	小児科
整形外科59(7):705-711,2008.7	外傷性疾患	松下 隆	整形外科
マルホ整形外科セミナー 189:4-13,2008.7	骨折の治療は今	松下 隆	整形外科
日本医事新報 No.4399:53-56,2008.8	超音波骨折治療の効果	松下 隆	整形外科
日本医師会雑誌 137(6):1224-1225,2008.9	医療係争事例から学ぶ 24 臨床診断・レントゲン検査での骨折発見の遅れ	松下 隆	整形外科
骨折に対する低出力超音波パルス治療の基礎と臨床 129-138	骨延長術への応用	松下 隆	整形外科
転倒予防医学百科,19-23, 日本医事新報社,2008.8	「運動器の10年」世界運動からみた高齢者の転倒・骨折予防	松下 隆	整形外科
Reprinted from The Journal of Craniofacial Surgery	Treatment Strategies for Fibrous Dysplasia	平林慎一	形成外科
The Ja	肝胆膵領域癌切除後の血行再建	江口智明	形成外科
Frontiers in Glaucoma 8:210-211, 2008.	緑内障の危険因子 1)緑内障視神経障害を進行させる因子	鈴木康之	眼科
Frontiers in Glaucoma 8:212-213, 2008	緑内障の危険因子 2)眼圧の意義	鈴木康之	眼科
あたらしい眼科25: 107-109, 2008	高眼圧症の治療と管理は？	鈴木康之	眼科

小計21

雑誌名	題名	発表者	所属部門
日眼会誌 112:1039-1058, 2008	日本緑内障学会多治見疫学調査(多治見スタディ)総括報告	鈴木康之	眼科
日眼会誌, 112(10): 876-881, 2008	ソフトコンタクトレンズ長期装用に伴う眼瞼下垂の1例	根本裕次	眼科
日眼会誌, 112(12): 1085-1089, 2008.	下鼻側球結膜下に発生した眼窩脂肪ヘルニアの1例	根本裕次	眼科
Anesthesiology 2009;110:885-90	Three-dimensional morphological analyses of positional dependence in patients with obstructive sleep apnea syndrome.	Saigusa H	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 2009	Multiple system atrophy manifesting as complex sleep-disordered breathing.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
Ann Oto Rhinol Laryngol 2008; 117:849-853	Postoperative monitoring of esophageal pressure in patients with obstructive sleep apnea syndrome who underwent tonsillectomy with uvulopalatopharyngoplasty.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
Tohoku J Exp. Med. 2008; 215:349-354.	Prevalence of complex sleep apnea among Japanese patients with sleep apnea syndrome.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
J Med Dent Sci 2008;55:43-47.	Overweight patients with severe sleep apnea experience deeper oxygen desaturation at apneic events.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
睡眠時無呼吸症候群 —循環器科医必須知識— メジカルレビュー 2008:220-224	耳鼻咽喉科的治療	鈴木雅明	耳鼻咽喉科
臨床睡眠学 日本臨床 2008;66: 457-459	睡眠関連胃食道酸逆流症	鈴木雅明	耳鼻咽喉科
Eur J Immunol	IL-12, IL-23, and IL-27 enhance human b-defensin-2 production in human keratinocytes.	Kanda, N.	皮膚科
Endocrinology	Leptin enhances human β -defensin-2 production in human keratinocytes.	Kanda, N.	皮膚科
Steroids	Novel effects of diosgenin on skin aging.	Kanda N	皮膚科
Eur J Immunol	Prolactin enhances basal and IL-17-induced CCL20 production by human keratinocytes.	Kanda, N	皮膚科
総合臨床	過活動膀胱	堀江 重郎	泌尿器科
月刊レジデント	泌尿器疾患	磯谷周治	泌尿器科
ANTICANCER RESEARCH	DNA Damage Response in Prostate Cancer Cells after High-intensity Focused Ultrasound (HIFU) Treatment	Ide H	泌尿器科
International Journal of Urology	Clinical Practice Manual for Late-onset Hypogonadism Syndrome	Horie S	泌尿器科
Clinical Rehabilitation	泌尿器疾患の薬物療法	磯谷周治	泌尿器科
ANTICANCER RESEARCH	Development of a Nomogram for Predicting High-grade Prostate Cancer on Biopsy: the Significance of Serum Testosterone Levels	Ide H	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
THE BONE	癌に伴う骨病変の治療 2.前立腺癌に対する内分泌療法に伴う骨病変とその治療	井手久満	泌尿器科
臨床と研究	特集・進歩した排尿障害の治療 男性の排尿障害と治療 尿道凶作	堀江重郎	泌尿器科
アンチ・エイジング医学-日本抗加齢医学会雑誌	総説 EDからアンチエイジングを考える	堀江重郎	泌尿器科
癌と化学療法	泌尿器系腫瘍 IV.腎細胞癌	堀江重郎	泌尿器科
週刊日本医事新報	微小血尿の鑑別診断	堀江重郎	泌尿器科
臨床泌尿器科	泌尿器科外科ベストナビゲーション 6.内分泌疾患 副腎・後腹膜の疾患	磯谷周治	泌尿器科
医学のあゆみ	多発性嚢胞腎の治療の新展開	武藤智	泌尿器科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet.	Up-regulation of ADM and SEPX1 in the lymphoblastoid cells of patients in monozygotic twins discordant for schizophrenia.	Nanko S	精神神経科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Mitochondrial DNA haplogroup analysis in patients with bipolar disorder.	Nanko S	精神神経科
Brain Nerve	急な視力視野障害で発症した中頭蓋窩くも膜嚢胞の1例	石井映幸	脳神経外科
Acta neurochir	Cisternal washing therapy for the prevention of cerebral vasospasm following SAH	Nakagomi T	脳神経外科
分枝脳血管病	モヤモヤ病	古屋一英	脳神経外科
Cardiac Prac	頸動脈病変に対するアプローチ	上野俊昭	脳神経外科
Neurocritical care society	Impact of Infection on Length of Intensive Care Unit Stay after Intracerebral Hemorrhage	Ohwaki K	脳神経外科
Can.J.Neurol,Sci	Symptom Predictors of Cerebrospinal Fluid Leaks	Ohwaki K	脳神経外科
Neurol Res	L-PDMP improves glucosylceramide synthesis and behavior in rats with focal ischemia	Fujimaki T	脳神経外科
胆と膵 (0388-9408)29巻臨増特大 Page1279-1285(2008.11)	MDCTによる膵臓の画像診断 造影剤動注下MDCTによるインスリノーマの検出と3D画像;選択的動脈内カルシウム注入試験(SAVS)との併用	竹下浩二	放射線科
臨床放射線 (0009-9252)53巻5号 Page655-659(2008.05)	Lemierre症候群の1例	治山高広	放射線科
Radiology. 2009 Feb;250(2):545-50.	Effective dose during abdominal three-dimensional imaging with a flat-panel detector angiography system.	Suzuki S	放射線科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2009;16(1):56-63. Epub 2008 Dec 26.	Management of postoperative arterial hemorrhage after pancreato-biliary surgery according to the site of bleeding: re-laparotomy or interventional radiology.	Miura F	放射線科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Vasc Interv Radiol. 2008 Sep;19(9):1361-5. Epub 2008 Jul 11.	Entrance surface dose during three-dimensional imaging with a flat-panel detector angiography system.	Suzuki S	放射線科
AJNR Am J Neuroradiol. 2008 Jun;29(6):1076-81. Epub 2008 Apr 3.	Patient skin dose during neuroembolization by multiple-point measurement using a radiosensitive indicator.	Suzuki S	放射線科
J Comput Assist Tomogr. 2008 Mar-Apr;32(2):252-8.	Detection of in-stent restenosis of coronary stents using 40-detector row computed tomography in vitro.	Suzuki S	放射線科
J Comput Assist Tomogr. 2008 Mar-Apr;32(2):191-7	Differential diagnosis of benign or malignant intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas by multidetector row helical computed tomography: evaluation of predictive factors by logistic regression analysis.	Takeshita K	放射線科
Catheter Cardiovasc Interv. 2008 May 1;71(6):792-8.	Methods to reduce patients' maximum skin dose during percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion.	Suzuki S	放射線科
日本放射線技師会雑誌 (0287-9395)55巻4号 Page333-340(2008.04)	消化管X線画像における補間誤差の抽出とその臨床画像への影響について	岡本孝英	中央放射線部
Anesthesia21 Century	自然睡眠・覚醒神経回路におけるオレキシンの役割—麻酔からの覚醒に参与する神経ペプチド—	福田 悟	麻酔科
Facial N Res Jpn	顔面神経麻痺の病態とリハビリテーション	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jpn	顔面神経障害の電気診断	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jpn	サリドマイド先天性顔面神経麻痺のMRI画像と電気生理学的所見	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jpn	顔面神経麻痺の後遺症評価: Sunnybrook法	栢森良二	リハビリテーション科
JOHNS	顔面神経麻痺up to date:Q&A-顔面神経麻痺の理学療法は	栢森良二	リハビリテーション科
Peripheral Nerve	滑車上肘筋による肘部尺骨神経障害の電気生理学的特徴	栢森良二	リハビリテーション科
総合臨床	顔面神経麻痺の診断と治療	栢森良二	リハビリテーション科
日本口腔外科学会雑誌	マウス二次口蓋発生におけるmedial edge epithelium消失の観察	西堀陽平	歯科口腔外科
Am J Emerg Med.	The Emergency Coma Scale for patients in the ED:concept, validity and simplicity.	Sakamoto T	救命救急センター
Circ J	Comparison of arterial blood gases of laryngeal mask airway and bag-valve-mask ventilation in out-of-hospital cardiac arrests.	Sakamoto T	救命救急センター
J Neurotrauma	Age-associated increases in poor outcomes after traumatic brain injury: a report from the Japan Neurotrauma Data Bank.	Sakamoto T	救命救急センター

雑誌名	題名	発表者	所属部門	
J Emerg Med.	Medullar injury caused by sewing needle puncture.	Morimura N	救命救急センター	
日本外科感染症学会雑誌	救命センター患者に対する免疫強化栄養剤投与による白血球Toll-like receptor 4発現の変化と臨床的有用性	西田昌道	救命救急センター	
産業医学ジャーナル	無水クロム酸の全身曝露中毒に対して組み立て式除染テントを用いた一例	新福玄二	救命救急センター	
日本救急医学会雑誌	電話救急医療相談におけるプロトコールの導入とその効果	森村尚登	救命救急センター	小計 4
				合計152

- (注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小寺 一 興
管理担当者氏名	医事課 飯塚裕之, 医療情報課 千葉隆, 総務課 和久正志 患者相談室 内田れい子, 薬剤部 渡邊真知子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医療情報課 各病棟 各科診療科	診療録等は年度別・科別・アドレス順フィルムはターミナルデジット方式 その他については年度別
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各科診療科	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	〃	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病診連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理部 総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理部 総務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理部 総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課 医薬情報センター
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	千葉 隆
閲覧担当者氏名	千葉 隆
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	54.1%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算 出 根 拠	A : 紹介患者の数	14,884 人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,620 人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	7,791 人	
	D : 初診の患者の数	49,244 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (2名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・所属職員：専任(1)名 兼任(16)名 ・活動の主な内容 1)安全管理対策の推進 2)定例安全管理部会のおよび臨時の安全管理委員会の開催 3)安全管理担当者連絡委員会を開催し、安全管理委員会で決定された事項の周知徹底 4)医療事故発生防止のための情報収集と教育 5)院内各部署への立ち入り検査と関係書類の調査 6)安全管理に関わる関係部署との連絡調整 7)医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 8)発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 9)発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 10)発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 11)発生した医療事故の原因の究明および指導 12)発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底 13)安全管理委員会、安全管理部会の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
・指針の主な内容： 1)安全管理に関する基本的な考え方 2)安全管理委員会その他の組織に関する基本事項 3)安全管理のための職員研修に関する基本方針 4)安全確保を目的とした、事故報告書に基づく改善策の立案、実施に関する基本方針 5)医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6)病院職員と患者の情報共有に関する基本方針 7)患者からの相談への対応に関する基本方針 8)安全管理対策に関する指針および安全管理マニュアルの見通しと周知の方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・活動の主な内容： 1)安全管理対策の推進 2)医療事故発生防止のための情報収集と教育 3)医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 4)発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 5)発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 6)発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 7)発生した医療事故の原因究明の確認および指導 8)発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
・研修の主な内容： 別紙参照	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無) ・その他の改善のための方策の主な内容： ○安全管理委員会において事故の事例分析および発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する	

医療に係わる安全管理のための職員研修(平成20年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
新入職員オリエンテーション	平成20年4月1日(火) 平成20年4月2日(水)	8:30~17:00 8:30~17:00	看護職員 117名 医療技術員 21名 事務職員 11名	安全管理体制について 放射線に関する知識と安全対策について
研修医基礎研修	平成20年4月1日(火) ~ 平成20年4月30日(水)	9:00~17:00	研修医 40名	医療事故の法律問題と事故への対応 放射線の人体に与える影響 放射線の安全取り扱い総論 放射線の安全取り扱い各論 放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規定 医療事故防止 安全管理体制 医療裁判に関するカルテ記載 暴力行為への対応
新規採用医師講習会	平成20年6月27日(金) 平成20年6月30日(月)	17:30~18:30 17:00~18:00	15名 19名	安全管理体制について 講師:坂本教授
医療事故防止に関する講習会 第1回	平成20年8月1日(金)	17:30~19:00	886名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長 採血の患者取り違い防止について 講師:森村准教授 インシデント・アクシデント集計報告 講師:上野リスクマネージャー
医療事故防止に関する講習会 ビデオ講習 第1回	平成20年10月28日(火) 平成20年11月6日(木)	17:30~19:00	299名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長 採血の患者取り違い防止について 講師:森村准教授 インシデント・アクシデント集計報告 講師:上野リスクマネージャー
職員研修会	平成21年2月17日(火)	17:30~19:00	150名	医療事故が発生した時の初期対応について 講師:西内・加々美法律事務所 西内岳弁護士
医療事故防止に関する講習会 第2回	平成21年3月30日(月)	17:30~19:00	833名	医薬品副作用報告制度について 講師:中島薬剤部課長補佐 気管切開術の院内マニュアルについて 講師:池田講師 インシデント・アクシデント集計報告 講師:上野リスクマネージャー

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
<p>・指針の主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会及び組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のため職員研修・情報共有に関する基本指針 4. 院内感染発生状況の報告と対応に関する基本事項 5. 院内感染対策要綱の見直しと周知に関する基本事項 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内における感染症の発生状況の把握 (2) 発生した感染症への対応策の一般的・個別的コンサルテーション (3) 院内感染症の発生予防と対応に関する情報の収集と提供 (4) 院内感染症の発生予防の具体策の提案 (5) 院内感染症の発生予防に関する教育 (6) 院内感染症に関する研究 (7) その他重要な感染症に関する情報の収集と教育、対策の立案 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 回
<p>・研修の主な内容:</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">別紙参照</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p style="padding-left: 20px;">○感染制御部・衛生委員会において感染症発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する</p>	

院内感染対策に関する職員研修(平成20年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
新入職員オリエンテーション	平成20年4月1日(火) 平成20年4月2日(水)	8:30~17:00 8:30~17:00	看護職員 117名 医療技術員 21名 事務職員 11名	院内感染対策について
研修医基礎研修	平成20年4月1日(火) ~ 平成20年4月30日(水)	9:00~17:00	研修医 40名	院内感染対策について 抗生物質の取り扱いについて 外科的抗菌薬の使い方
新入医師講習会	平成20年6月27日(金) 平成20年6月30日(月)	17:30~18:30 17:00~18:00	15名 19名	院内感染対策について 講師:太田教授
院内感染予防講習会 第1回	平成20年6月9日(月)	17:30~18:30	968名	感染対策の基本について 講師:大田教授 手洗いおよび針刺し事故について 講師:工藤師長 麻疹等の感染対策について 講師:西谷准教授
院内感染予防講習会 第1回ビデオ講習	平成20年9月26日(金) 平成20年9月29日(月)	17:30~18:30	241名	感染対策の基本について 講師:大田教授 手洗いおよび針刺し事故について 講師:工藤師長 麻疹等の感染対策について 講師:西谷准教授
院内感染予防講習会 第2回	平成20年11月12日(水)	17:30~18:30	770名	咳エチケットとインフルエンザ 講師:古賀医師 手洗い実施率向上への取り組み 講師:芦田看護師長 抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMについて 講師:中島薬剤部課長補佐
院内感染予防講習会 第2回ビデオ講習	平成20年11月21日(金) 平成20年11月26日(水)	17:30~18:30	253名	咳エチケットとインフルエンザ 講師:古賀医師 手洗い実施率向上への取り組み 講師:芦田看護師長 抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMについて 講師:中島薬剤部課長補佐

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<p>・研修の主な内容:</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">別 紙 参 照</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 ((有) ・ 無)</p> <p>・業務の主な内容</p> <p>(1) 医薬品の安全管理対策の推進</p> <p>(2) 定例医薬品安全管理委員会の開催および臨時の医薬品安全管理委員会の開催</p> <p>(3) 職員に対する医薬品の安全使用のための研修会の開催およびその内容の記録</p> <p>(4) 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の策定、見直しおよびそれに伴う庶務に関すること。</p> <p>(5) 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集と職員への周知徹底</p> <p>(6) その他医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施</p> <p>(7) 医薬品安全管理委員会の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること。</p> <p>(8) その他医薬品安全管理委員会が認めたもの。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>各メーカーのMR・ホームページ、医薬品医療機器情報提供ホームページより情報を収集し、各部署へDIニュースとして発信、研修会の実施。</p>	

医薬品の安全使用のための職員研修(平成20年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
研修医基礎研修	平成20年4月1日(火) ～ 平成20年4月30日(水)	9:00～17:00	研修医 40名	術前術後の輸液管理・栄養管理 外科的抗菌薬の使い方 麻薬および向精神薬の管理
医療事故防止に関する講習会 第1回	平成20年8月1日(金)	17:30～19:00	886名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長
医療事故防止に関する講習会 第1回 ビデオ講習	平成20年10月28日(火) 平成20年11月6日(木)	17:30～19:00	299名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長
院内感染予防講習会 第2回	平成20年11月12日(水)	17:30～18:30	770名	抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMIについて 講師:中島薬剤部課長補佐
院内感染予防講習会 第2回 ビデオ講習	平成20年11月21日(金) 平成20年11月26日(水)	17:30～18:30	253名	抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMIについて 講師:中島薬剤部課長補佐
医療事故防止に関する講習会 第2回	平成21年3月30日(月)	17:30～19:00	833名	医薬品副作用報告制度について 講師:中島薬剤部課長補佐

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無			
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 25 回			
<p>・研修の主な内容：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: middle;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">の取扱いについて</td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> 1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射 	}	の取扱いについて
<ul style="list-style-type: none"> 1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射 	}	の取扱いについて		
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況				
<p>・計画の策定 (有) ・ 無)</p> <p>・保守点検の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 使用前、使用中、使用後の点検 2) 1週間～1年の定期点検 3) 点検方法は各医療機器の取扱い説明書を参考に実施している。 				
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況				
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器メーカーからの安全性情報等が来た場合、安全管理部や医療機器安全管理部と相談し、当該部署へ通達する。</p>				